

文化帖設定資料

世界を滅ぼすいつかの最厄。
追う軍勢、囃す衆愚、狙う怪盗。
テロリストに成り下がった、一陣の鴉。
劣悪が優秀を淘汰する世の常と憐憫を誘うような勤勉さが、少女を孤独へと駆り立てた。

足は依然として軽やかなのに。
少女はどこにも届かない。
翼は以前よりも雄大なのに。
少女は地へ堕ちて行く。

今にも溶けてしまいそうな幻想の中。
既視感めいた世界の崩壊に救済は与えられず。
こびりついた泥と耳鳴り。
墜落の刹那、少女は、笑う。

そして、風は——。

↑ 作品をよく表したポエム。いつものこと。うれしはずかし。

設定

- ・砂名丸 アヤ
→文化帖の持ち主。新聞記者。
- ・犬奔 モミジ
→アヤの後輩。天狗のコミュニティ内の。
- ・川白 ニトリ
→河童軍団メカニック。対天狗対策本部現場指揮官。
- ・基本的には妖怪の山が舞台。天狗と人間、河童と人間は盟友だが、だからこそ天狗と河童の仲が悪い世界。人間と一番仲いいのはわたしー！思春期女子のノリみたいな。
- ・数百年前に最厄の天狗が暴れまわっていたが、天狗と河童が協力して一枚の写真に封印した。その写真、「最厄の一枚」をめぐるお話。
- ・ちなみにちなみにこの世界でレイムは新聞記者。
- ・この物語
→フィクション。本編とは一切関係ありません。やばいくらい。